



水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定及び認定の更新が決定した以下の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



8月4日

大津市企業局
(認定番号：JWWA-GLP125)



8月5日

高知市上下水道局
(認定番号：JWWA-GLP085)



9月5日

豊中市上下水道局
(認定番号：JWWA-GLP038)

第16回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（8月4日）

委員長である東京都市大学長岡教授の指名により副委員長に東京都水道局の尾根田委員を選出した後、ISOのワークショップ「グローバル・サービス」の参加報告、専門委員会TC224の業務範囲の見直しに関するグループの検討報告、既に設置されている各ワーキンググループの活動報告、再生水の利用に関する専門委員会TC282の参加報告がなされた。また、本委員会の小委員会が、水道施設のアセットマネジメント及び危機における代替給水に関する新規格案の検討を開始したことが報告された。

第55回国際委員会（8月4日）

報告事項として「日本水道協会全国会議（京都市）における国際イベント企画（案）について」、「第10回 IWA 世界会議・展示会（ブリスベン）」、「AWWA 年次会議2016（シカゴ）」など、今後の国際イベントや、前回の国際委員会以降に実施した国際活動等について報告を行った。

続いて、11月に行われる全国会議の国際水道フォーラムのテーマについて、委員の方々から意見をいただいた。



配管設計講習会（九州会場第1回：8月17日～19日、九州会場第2回：8月24日～26日、中国四国会場：8月31日～9月2日、東北会場：9月7日～9日）

水道事業体及び設計業者の方々196名（九州会場第1回50名、九州会場第2回50名、中国四国会場50名、東北会場46名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

水道事業管理職事務研修会（東京会場：8月18日～19日、大阪会場：8月25日～26日）

水道事業体に従事する事務系管理職及び管理職を補佐する方々104名（東京会場57名、大阪会場47名）の参加を得て「水道事業の現状と課題」、「水道事業における危機管理」、「水道事業の会計制度と財政のポイント」、「管理職の究極的必要能力とは～はとバス再建から得た教訓～」、「上下水道料金等収納業務の共同発注（シェアードサービス）～かすみがうら市・阿見町の事例～」について研修を実施した。

漏水防止講座（東京会場第3回：8月24日～26日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々57名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使つての現地研修を行った。

第112回水道 GLP 認定委員会（8月29日）

水道 GLP 認定について、(株)新環境分析センター（JWWA-GLP126）が新規に審議され決定された。また、桐生市水道局（JWWA-GLP039）、福岡県南広域水道企業団（JWWA-GLP040）、千葉県水道局（JWWA-GLP088）が認定更新検査機関として、周南都市水道水質検査センター協議会（JWWA-GLP065）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

未納料金対策実務研修会（東京会場第2回：9月1日～2日）

水道事業体及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々73名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

漏水防止講座（大阪会場：8月31日～9月2日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々30名の参加を得て、大阪市水道局体験型研修センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「配水量分析」、「漏水防止対策」、「事事故例・安全対策」、「管路の情報管理」、「漏水探査」、「管路の保全対策と修繕」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使つての現地研修を行った。

平成28年度第4回理事会（9月5日）

吉田理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」、報告事項2「エコプロ2016～環境とエネルギーの未来展～におけるブース出展」について事務局から説明があった。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「前理事長の退職手当」、第2号議案「会員の入会」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



平成28年度第2回運営会議（9月5日）

副会長である浅利豊中市長が議長となり、報告事項1「平成29年度水道関係予算の概算要求」について、厚生労働省、総務省から説明があったのち、報告事項2「水道整備促進全国決起集会（自由民主党）」、報告事項3「平成28年熊本地震水道施設被害等現地調査団」、報告事項4「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項5「日水協ビジョン（案）」、報告事項6「平成28年度水道イノベーション賞」、報告事項7「平成28年度全国会議（京都市）シンポジウム」、報告事項8「平成28年度全国会議における国際イベントの概要」、報告事項9「平成28年度日本水道協会スポット広報」、報告事項10「平成27年度水道賠償責任保険等の実績」について、事務局から説明があった。

続いて、第1号議案「平成29年度水道関係予算等の要望」、第2号議案「日本水道協会第89回総会会員提出問題」、第3号議案「平成29年度全国会議の開催地」がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、関係国会議員及び財務省に対し陳情を行った。



運営会議の様子



浅利豊中市長

第29回広報専門委員会（9月7日）

はじめに、審議事項1「委員長の互選について」を行い、東京都水道局サービス推進部サービス推進課長の金山委員を選任した。次に、審議事項2「平成28年度スポット広報について」審議、意見交換を行った。

続いて、出席委員から報告事項1「各都市広報事例の紹介」の報告を行った後、事務局より報告事項2「第58回水道週間の活動報告について」、報告事項3「水道協会雑誌特集企画『次世代を担う子ども達へ』」及び報告事項4「エコプロ2016への参加について」の報告を行った。

